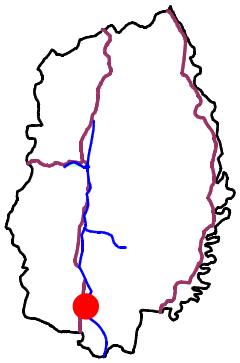
安全で安心できる地域づくり　あらゆる災害に強い安全な地域づくり

事業名	一関遊水地事業〔衣川地区〕（直轄） （岩手県西磐井郡平泉町）

事業着手：昭和47年度
（衣川地区は平成11年度）

事業の必要性・事業の概要

岩手県



「事業の必要性」

一関遊水地事業により、これまで周囲堤及び本支川の堤防整備を進めており、衣川地区を除きほぼ概成している。

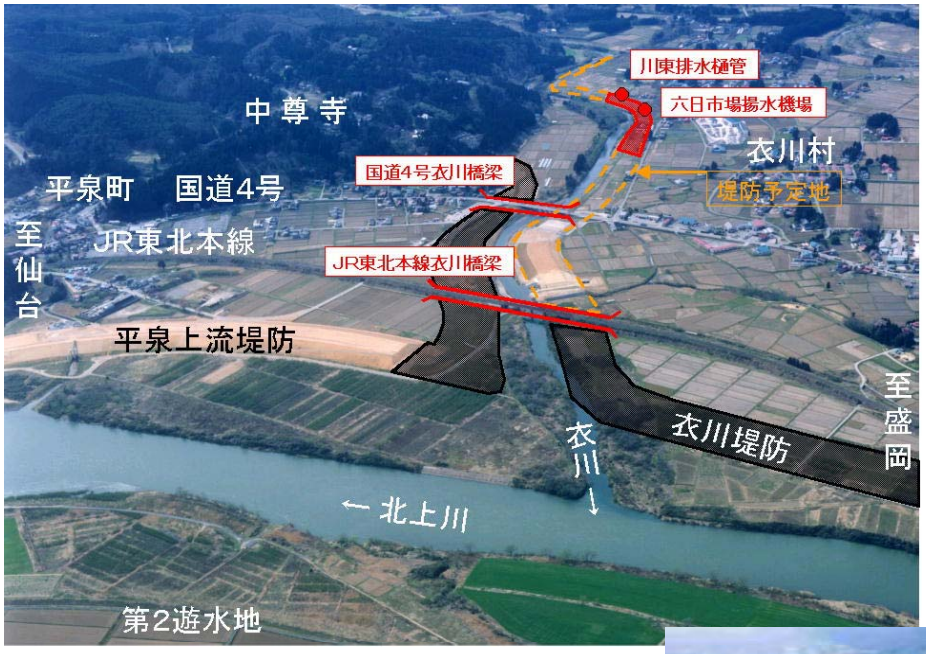
衣川地区は、現在無堤状態にあるため、戦後3番目の大規模な洪水となった平成14年7月洪水（台風6号）では、23戸の家屋浸水や、国道4号の通行止めなど甚大な被害を受けました。

また、平成19年7月には「世界文化遺産登録」に向けたイコモス※の現地視察が予定されていることから、築堤や構造物の概成が必要となっています。

※　イコモス（ICOMOS）：国際記念物遺跡会議。人類の遺産や建造物など歴史的資産の保存、修復を目的とした国際的なNGO

「事業の概要」

衣川地区の治水安全度の向上を図るため、衣川支川堤防・衣川本川堤防の概成と北上川本川の背水に対応した築堤計画に伴い、流下断面阻害となっているJR東北本線衣川橋梁及び国道4号衣川橋梁の架け替え及び築堤を実施するものです。





事　業　効　果

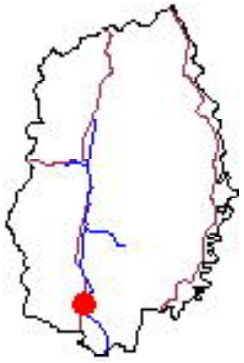
○衣川堤防の促進により、当該地区に於いて、アイオン台風並の洪水による浸水被害を軽減します。これにより、平成14年7月洪水（台風6号）で被害のあった23戸の浸水被害が解消されます。

安全で安心できる地域づくり　あらゆる災害に強い安全な地域づくり

事業名	下之橋（しものはし）架替事業（直轄） （岩手県一関市）
事業着手：平成14年度	

事業の必要性・事業の概要

岩手県



「事業の必要性」

一関市中心部に位置し、背後資産の大きい当該地区を洪水から守る磐井（いわい）川左右岸の堤防は、一関遊水地事業の一環として、H13年度のHWL堤により、周囲堤との一連の整備が概成しています。

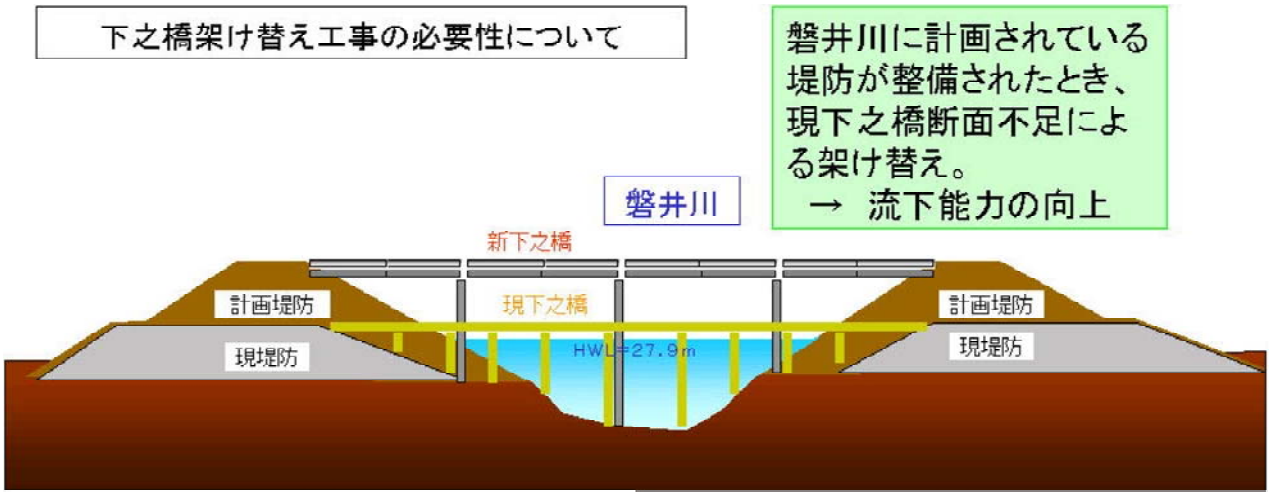
しかし、現在の下之橋は桁下高不足のため、洪水時には流水の阻害となっています。

今後、磐井川堤防の完成化に向け、現橋の架け替えが必要となりました。

「事業の概要」

北上川本川の背水に対応した、築堤計画に伴い、下之橋の架け替えを実施するものです。





事　業　効　果

○下之橋の架け替えにより、当該箇所の流下能力が改善され、一関市内の治水安全度が向上するとともに道路が拡幅され交通渋滞を解消します。

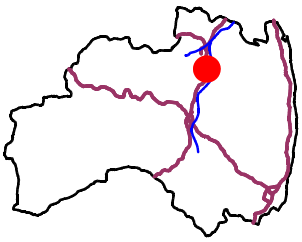
安全で安心できる地域づくり　あらゆる災害に強い安全な地域づくり

事業名	二本松(にほんまつ)・安達(あだち)地区水防災対策特定河川事業（直轄） （福島県二本松(にほんまつ)市・安達(あだち)町）

事業着手：平成14年度

事業の必要性・事業の概要

福島県

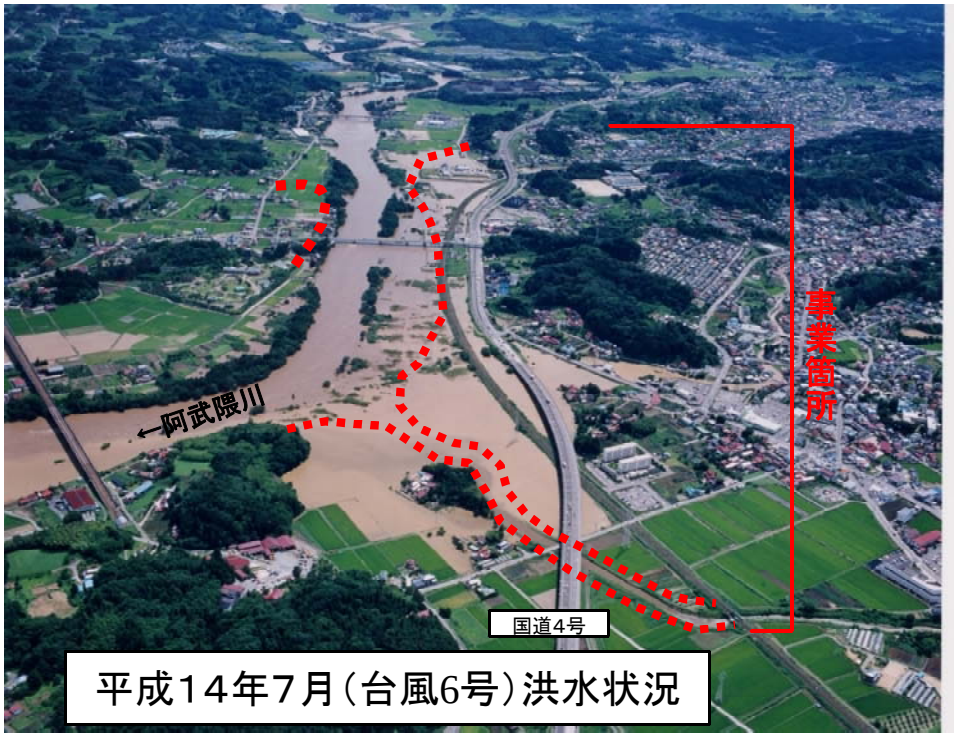


「事業の必要性」

当該箇所は、無堤地区となっており、平成10年8月及び、平成14年7月洪水で国道4号線の一時通行止めや、家屋浸水などの多大な被害を受けており、早期の治水対策が必要となっています。

「事業の概要」

東北地方の河川の特徴を生かし、上下流バランスを考慮した治水対策を進めるため、狭窄部の二本松・安達地区において、従来の改修（連続堤）ではなく、輪中堤(わじゅうてい)による治水対策を実施します。



平成14年7月（台風6号）洪水状況



国道4号の冠水状況

事　業　効　果

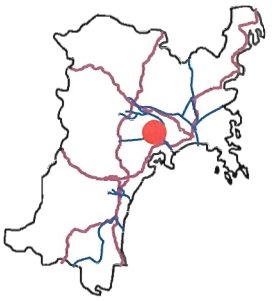
○平成10年、14年の洪水はもとより、計画している150年に1回の確率で発生する洪水による浸水被害（123戸）が解消されます。

安全で安心できる地域づくり　あらゆる災害に強い安全な地域づくり

事業名	鳴瀬川水系下志田（しもしだ）地区直轄河川改修事業（二線堤）〔直轄〕 （宮城県志田（しだ）郡鹿島台（かしまだい）町）
事業着手：平成16年度	

事業の必要性・事業の概要

宮城県



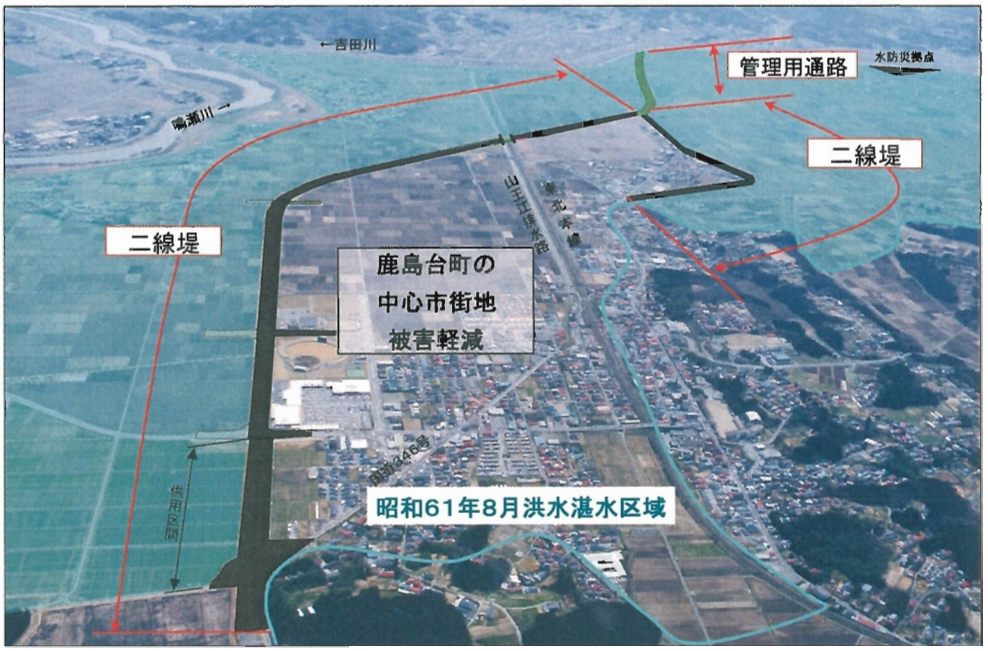
「事業の必要性」

当該箇所は旧品井沼を中心とした低平地であることから、昔から水害に悩まされてきた地域であり、昭和61年8月洪水では吉田川が破堤し、鹿島台町だけでも家屋の全壊流出43棟、半壊161棟、更に浸水が12日間も続く被害となりました。

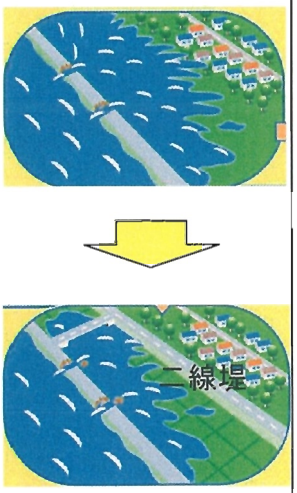
これらを契機に大規模な水害に備えるために、総合的な治水対策が必要となっており、「二線堤」を主体とした「水害に強いまちづくり事業」を推進しております。

「事業の概要」

万一洪水で河川が氾濫した場合、氾濫水による中心市街地の被害軽減と救援や復旧活動等に資するため、国道346号鹿島台バイパスとの兼用した「二線堤」の整備を国と県が共同で事業を実施します。



【二線堤の設置イメージ】



市町村名	面　積 人　口	氾濫面積 氾濫人口	浸水被害（昭和61年8月洪水）実績	
鹿島台町	54.05km2 14,232人	2,670ha 4,960人	全壊　43戸　半壊161戸 床上740戸　床下158戸	111.4億円
大郷町	82.02km2 10,307人	1,300ha 490人	半壊　1戸 床上　60戸　床下 91戸	44.7億円
松島町	54.00km2 17,535人	729ha 750人	全壊　1戸　半壊　3戸 床上270戸　床下634戸	23.3億円



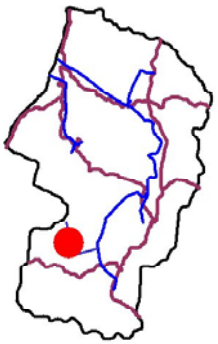
事　業　効　果

○昭和61年規模の洪水による本川堤の破堤が生じても、二線堤内において被害が解消されます。

安全で安心できる地域づくり　あらゆる災害に強い安全な地域づくり

事業名	長井ダム建設事業（直轄） （山形県長井市）
事業着手：昭和５９年度	
事業の必要性・事業の概要	

山形県



「事業の必要性」

長井ダムは、最上川の左支川置賜野川の上流長井市平野・寺 泉地内に建設中の多目的ダムです。

長井ダムは、最上川本川と置賜野川の洪水調節、渇水時における正常な流水機能の維持、かんがい用水の補給、水道用水の供給、発電の5つの役割を担います。

「事業の概要」

○　ダム諸元

・総貯水容量：5,100万m³　・高さ：125.5m　・堤頂長：381.0m

・堤体積：120万m³　・ダム型式：重力式コンクリートダム

○　これまでの事業経緯

平成12～14年度　堤体基礎掘削

平成14年度～　堤体コンクリート打設

平成17年7月末　コンクリート打設95万m³

○　総事業費：1,600億円、完成工期：平成22年度

（平成14年11月12日：基本計画変更告示）

長井ダム堤体コンクリート打設状況　＜下流から＞

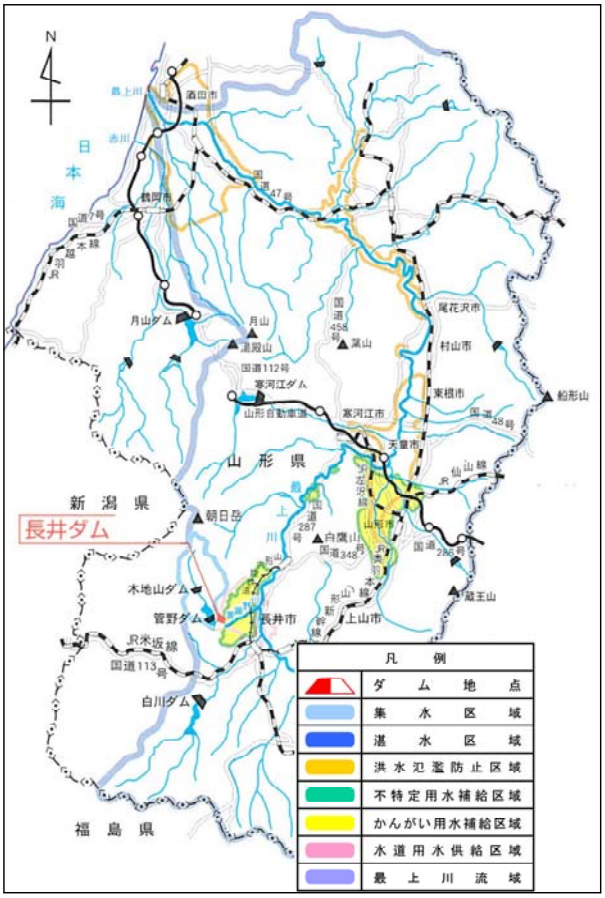


（平成17年5月撮影）

平成14年7月台風出水状況（最上川：白鷹町）



位置図及び計画概要図



事　業　効　果

○　ダム地点における洪水量（計画高水流量）1,000m³/sのうち780m³/sをダムに貯め、220m³/sを下流に放流する洪水調節を行うことにより、関連事業の整備と併せて最上川本川及び支川置賜野川の洪水被害の軽減を図ります。

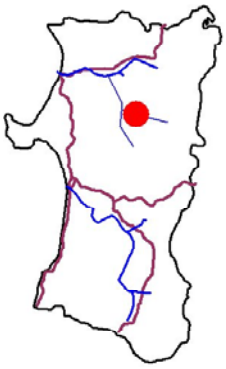
○　また、長井市への水道用水の供給をはじめとする各種用水の安定的な確保を図るとともに、渇水被害の軽減を図ります。

安全で安心できる地域づくり　あらゆる災害に強い安全な地域づくり

事業名	森吉山ダム建設事業（直轄） （秋田県北秋田市）
事業着手：昭和６１年度	

事業の必要性・事業の概要

秋田県



「事業の必要性」

森吉山ダムは、米代川の左支川阿仁川の小又川上流に位置する北秋田市根森田・森吉地内に建設中の多目的ダムです。

森吉山ダムは、米代川本川と支川阿仁川及び小又川の洪水調節、渇水時における正常な流水機能の維持、水道用水の供給、かんがい用水の補給、発電の５つの役割を担います。

「事業の概要」

○　ダム諸元
・総貯水容量 ： 7,810万m^3　・高さ ： 89.9m　・堤頂長 ： 786.0m
・堤体積 ： 585万m^3　・ダム型式 ： ロックフィルダム

○　これまでの事業経緯
平成14～15年度　堤体基礎掘削
平成16年度～　堤体盛立
平成17年7月末　堤体盛立238万m^3

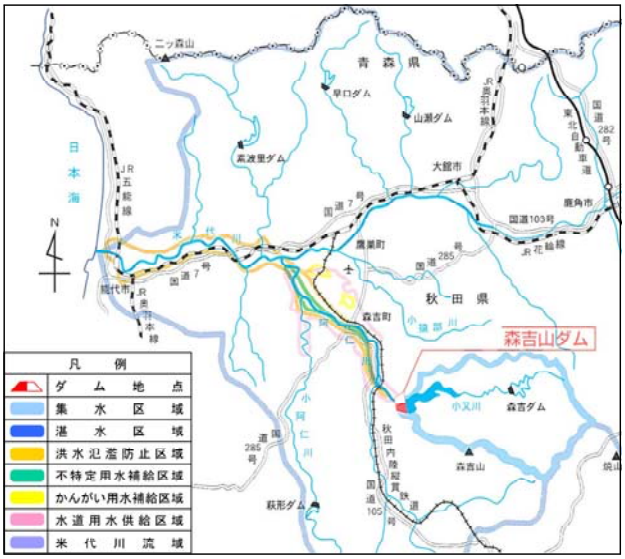
○　総事業費：1,750億円、完成工期：平成23年度
（平成12年6月14日：基本計画変更告示）

本体工事中の森吉山ダム ＜下流上空から＞



（赤枠はダム堤体の縁取り、平成17年5月撮影）

森吉山ダム計画概要図



支川小又川の越水<H9.7>



事　業　効　果

○　ダム地点における洪水流量（計画高水流量）2,300m^3/sのうち2,200m^3/sをダムに貯め、100m^3/sを下流に放流する洪水調節を行うことにより、関連事業の整備と併せて米代川本川及び支川阿仁川・小又川沿川の洪水被害の軽減を図ります。

○　また、北秋田市（旧森吉町・旧合川町）への水道用水の供給をはじめとする各種用水の安定的な確保を図るとともに、渇水被害の軽減を図ります。

安全で安心できる地域づくり　あらゆる災害に強い安全な地域づくり

事業名	堤防質的整備〔直轄〕 （宮城県岩沼市、秋田県由利本荘市　他）

事業着手：平成16年度

事業の必要性・事業の概要

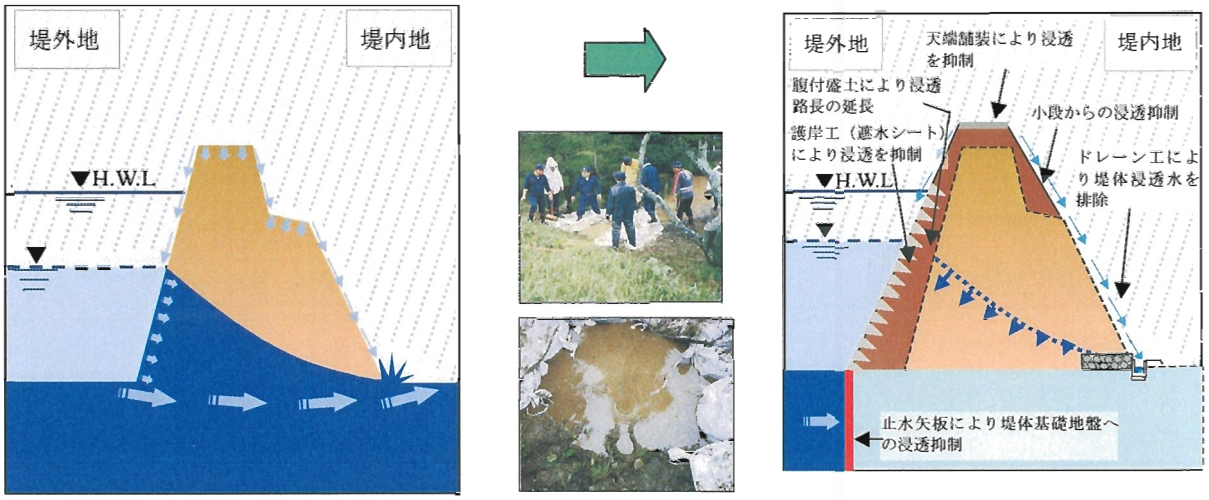
「事業の必要性」

平成8年度に実施した概略点検を基に、現在詳細点検を実施しているところです。これまでの調査で、計画の水位に達する規模の洪水が発生した場合、浸透破壊に対する堤防の安全性が確保されていない区間が確認されています。

このため、安全性の不足が確認された区間について、堤防強化（質的整備）を計画的に実施します。

「事業の概要」

堤防の質的整備を図るため、次のような工法を実施します。



↑　平成10年8月洪水の漏水状況（阿武隈川）



↑　阿武隈川下流押分（おしわけ）地区における堤防質的整備



↑　子吉川本荘（ほんじょう）地区における堤防質的整備

事　業　効　果

○阿武隈川押分地区においては、浸水被害が想定される仙台空港や仙南地域の被害を軽減させます。
○子吉川本荘地区においては、本荘地区の中心市街地への影響を軽減させます。
○浸透水の抑制及び低減を図り、堤防背後の安全性を確保します。

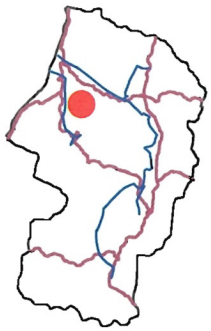
安全で安心できる地域づくり　あらゆる災害に強い安全な地域づくり

事業名	最上川水系直轄砂防事業　工藤沢砂防えん堤群（第2号えん堤）（直轄） （山形県東田川郡庄内町）

事業着手：平成17年度

事業の必要性・事業の概要

山形県



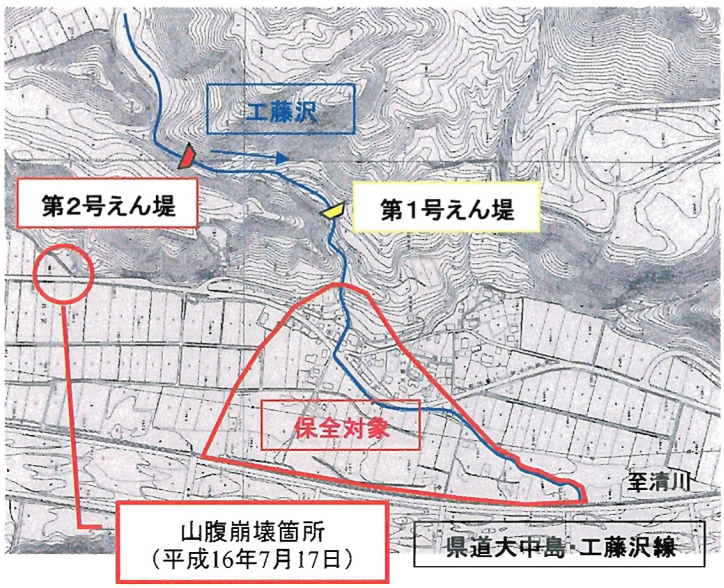
「事業の必要性」

工藤沢は土石流危険渓流の1つであり、平成16年7月には付近で山腹崩壊が発生するなど、土石流の危険性が高まっており、早期の対策が必要になっています。

「事業の概要」

○第1号えん堤
- ・構造：コンクリート重力式（H17完成）
- ・えん堤高・延長：H=8.0m　L=60.5m
- ・土砂整備効果量：3,100m3

○第2号えん堤
- ・構造：鋼製スリット
- ・えん堤高・延長：H=6.0m　L=41.0m
- ・土砂整備効果量：4,600m3






平成16年　7月17日降雨による山腹崩壊

事　業　効　果

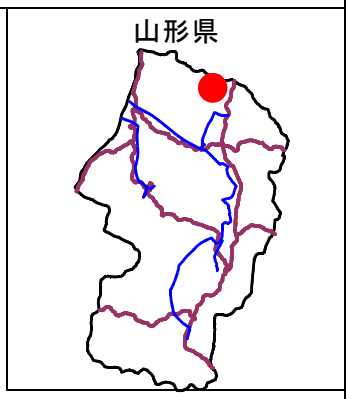
○土砂災害から下流の民家（11戸）、県道大中島線・工藤沢線を保全します。

安全で安心できる地域づくり　あらゆる災害に強い安全な地域づくり

事業名	最上川水系直轄砂防事業　朴木沢第二砂防えん堤（直轄） （山形県最上郡真室川町）

事業着手：平成11年度

事業の必要性・事業の概要

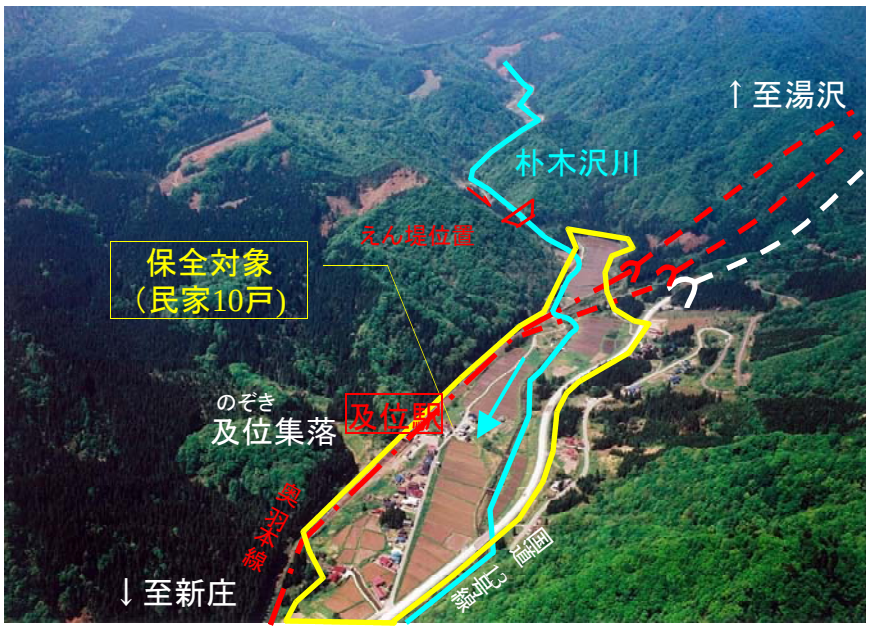


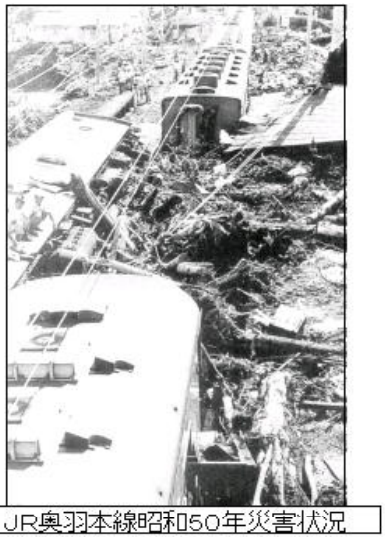
「事業の必要性」

鮭川流域においては昭和50年8月の記録的な災害を契機に再度災害防止のために順次施設整備を進めています。当該箇所は、下流に集落や重要交通網（JR奥羽本線、国道13号）の保全対象を有し、早急に土砂災害の安全度を向上させる必要があります。

「事業の概要」

○構造：重力式コンクリートスリット
○えん堤高・延長：H=12.0m　L=136.5m
○整備土砂量：86,200m3




JR奥羽本線昭和50年災害状況




昭和50年災害土砂崩れ箇所

事　業　効　果

○土砂災害から下流民家（10戸）及び重要交通網（JR奥羽本線、国道13号）を保全します。

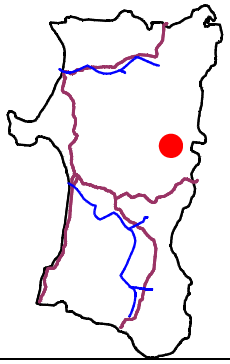
安全で安心できる地域づくり　あらゆる災害に強い安全な地域づくり

事業名	八幡平山系直轄火山砂防事業　田沢沢川第一砂防えん堤（直轄） （秋田県仙北郡田沢湖町）

事業着手：平成15年度

事業の必要性・事業の概要

秋田県

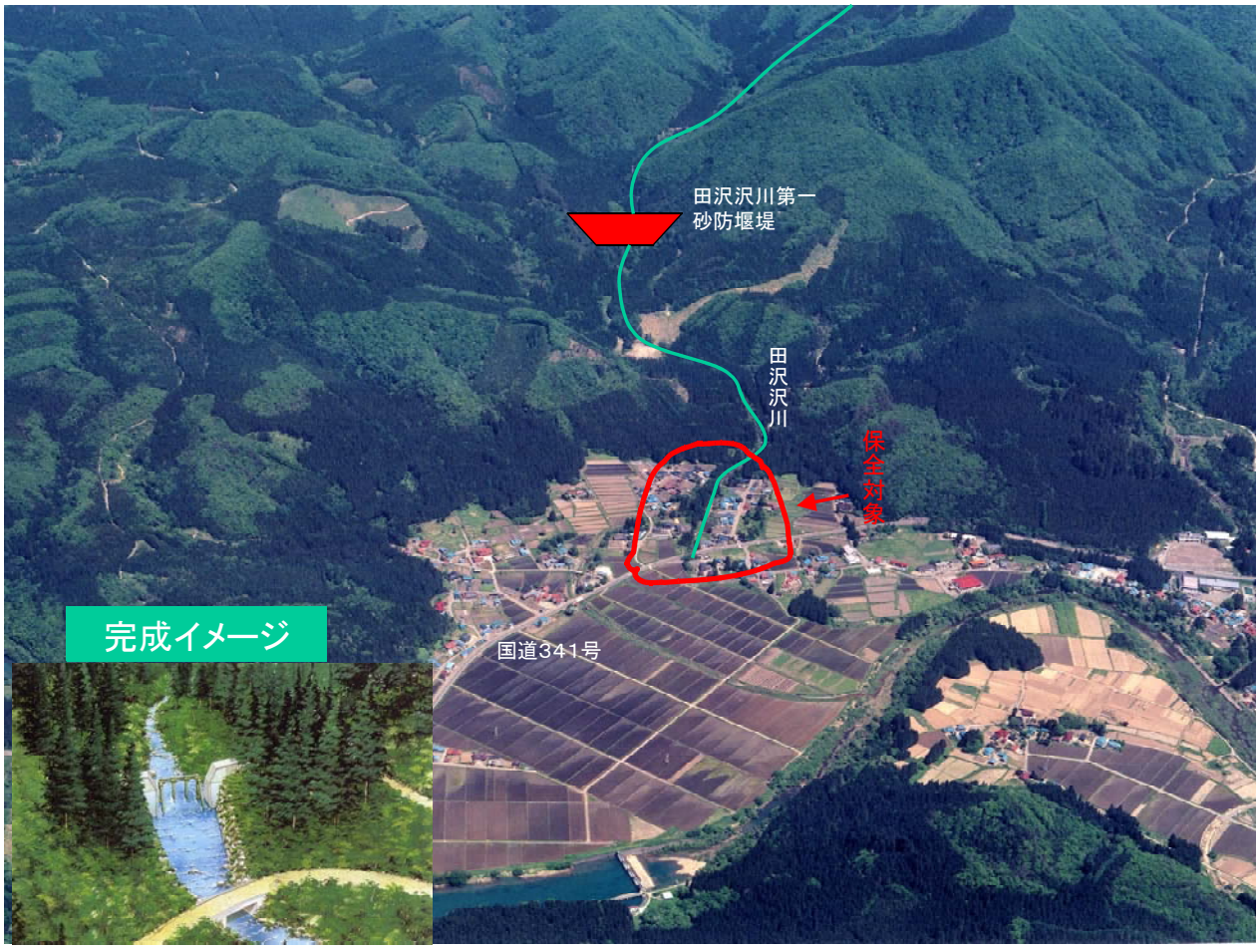


「事業の必要性」

田沢沢川は土石流危険渓流の一つであり、その上流域は荒廃が進み、既設砂防えん堤は満砂の状態で土石流の危険性が高まっており、早期の対策が必要となっています。

「事業の概要」

○構造：鋼製スリット
○えん堤高・延長：H=6.0m　L=53.5m
○土砂整備効果量：1,600m3



事　業　効　果

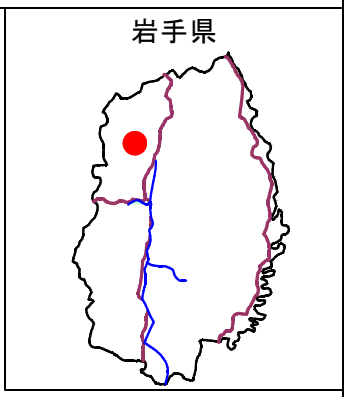
○土砂災害から下流民家（34戸）、国道341号を保全します。

安全で安心できる地域づくり　あらゆる災害に強い安全な地域づくり

事業名	八幡平山系直轄火山砂防事業　澄川第二砂防えん堤（直轄） （岩手県岩手郡松尾村）

事業着手：平成14年度

事業の必要性・事業の概要



「事業の必要性」

澄川は、岩手山噴火後の降灰が降雨により土石流となり流れ下ることから、岩手山周辺の観光資源となる「松川温泉」の宿泊施設を土砂災害から守るため、早急な対策が必要となっています。

「事業の概要」

○構造：コンクリート重力式
○えん堤高・延長：H=14.5m　L=91.0m
○土砂整効果量：88,500m3



－澄川流域－

事　業　効　果

○土砂災害から下流の松川温泉の宿泊施設を守り、観光資源を保全します。